

令和4年8月19日

新型コロナウイルス感染者の発生および診療制限について

昨日（8月18日）から本日にかけて、当院の病棟において、13名の患者さん、および病院職員10名において新型コロナウイルス陽性が判明しました。当該病棟入院中の患者さん、および同病棟職員に対して定期的に抗原定量検査（PCRと同等の感度）を実施するなど、引き続き健康管理を行い、感染拡大の防止に万全を期してまいります。

新型コロナウイルスへの対応につきましては、これまで頻回の手洗いや適切な个人防护具（マスク、アイシールドなど）を用いるなど、細心の注意を払っておりましたが、このような事態となり、患者さんはじめご家族の皆様にご心配をおかけしていることを深くお詫びいたします。

コロナ感染拡大に伴う医療体制逼迫に関しては、当院でも現在、職員60名以上がコロナ陽性または濃厚接触のため欠勤しており、このため診療体制を一部縮小せざるを得ない状況となっています。一部病棟への入室制限、予定手術の一部延期、集中治療室の入室制限、救急対応の一部制限などで、診療制限させていただきます。外来については通常通り行います。この体制については1週間ごとに状況に応じて中止、延長を検討します。

感染状況悪化に伴う診療制限ですが、地域医療を守るためにも、できるだけ診療を継続していくよう努力してまいります。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

院長 西村和修